

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp vol.48



☆お気軽に声をかけて下さい。
お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへでも伺います。
☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！
お気づきの点がございましたら、どんな小さなことでも結構です。ぜひ意見を！

「見逃した！」という方に
バックナンバーをお送りします
これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜47号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日
8月2日(日)
発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



皆様の温かいご支援により…

2157票
(第3位)

市議選で4回目の当選



4月26日(日)に投開票が行われた真岡市議会議員選挙において、中村は2157票を獲得し、全立候補者の中の第3位で4回目の当選を果たしました。

中村は今回、教育と生涯学習の充実を柱とした15の具体的政策を『中村的マニフェスト』として掲げ、選挙戦に臨みました。そうした訴えが多くの方々にご支持いただけたことは大変光栄なことだと感じております。

本格的な人口減少時代に突入した中で、今大きく問われているのは、真岡市の特性を活かした独自の『地方創生』のあり方です。

30歳の時に初めて議会に送り出させていただいてから早12年…。これからも初心を忘れることなく、1票1票に込められた皆様の想いを受け止めながら、4期目の議員活動に全力で挑んでいきたいと考えております。

中村は『無党派』でスタートします

市議選直後に、従来は2つに分かれていた自民党系の会派が1つに統合されるなど、議会内における会派構成が大きく変わることとなりました。

これまで中村は、会派には所属していたものの、どの政党とも一定の距離を置きながら活動を続けてきた経緯を踏まえ、『無党派』として4期目の議員活動をスタートさせていただきます。

今後とも、皆様の変わらぬご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

改選前の活動報告

2月定例議会報告 2/19 ▶ 3/13

2月定例議会が、2月19日(木)から3月13日(金)にわたって行われました。今回、執行部から提出された議案は「平成27年度当初予算」や「福島県伊達郡川俣町との災害時における相互応援に関する協定の締結」、「工場立地準則条例」の制定など計39件で、いずれも原案通り可決しました。

また、2月25日(水)、26日(木)に行われた質疑・一般質問には9名の議員が、3月11日(水)に行われた予算審査特別委員会には3名の議員が執行部との論戦を行いました。(当初予算について中面に関連記事)



2月定例会議は、28名の定数で行われる最後の議会となりました。

真岡市 平成27年度 当初予算が決定

総額は520億3667万6千円 (前年比12億3552万6千円増)

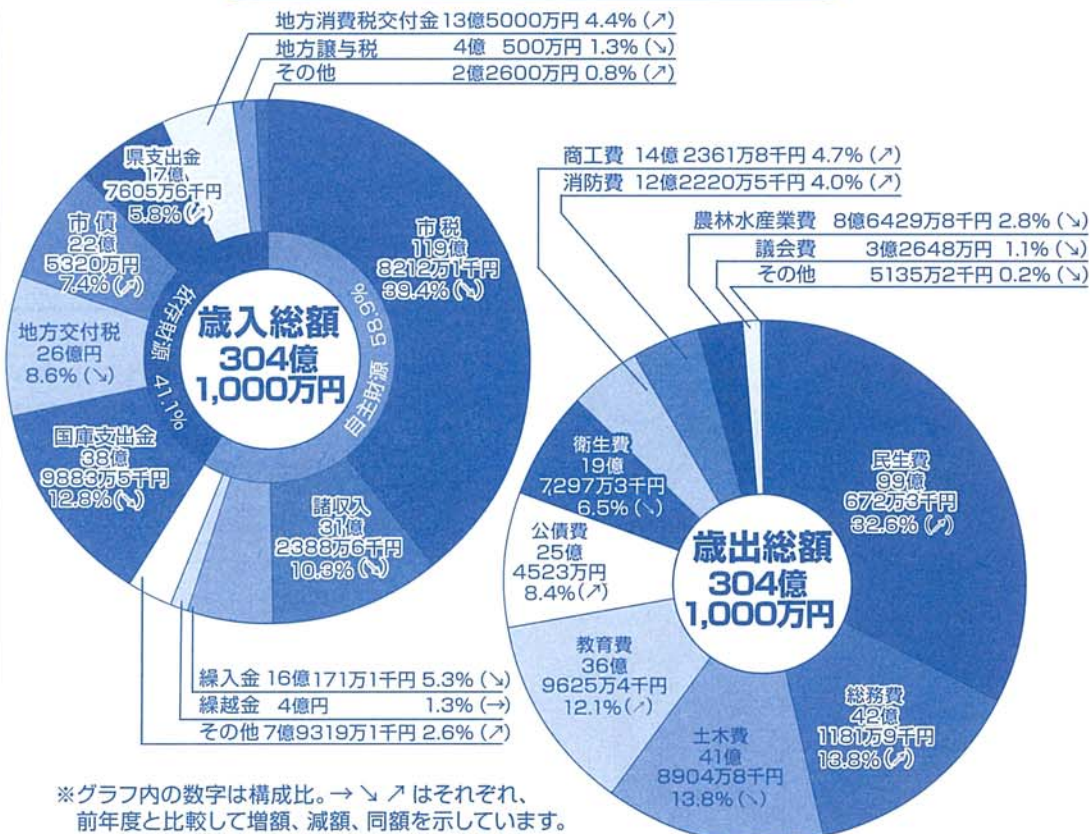
平成27年度 会計別予算額

会計名	当初予算額
一般会計	304億1000万円
国民健康保険	103億4816万7千円
後期高齢者医療	6億2702万6千円
介護保険(保険事業勘定)	49億5475万2千円
介護保険(介護サービ事業勘定)	1388万9千円
インターチェンジ周辺開発事業	6793万2千円
公共下水道事業	27億9724万9千円
農業集落排水事業	5億8217万4千円
計	193億9118万9千円
水道事業会計	22億3548万7千円
合計	520億3667万6千円

How much? 真岡市の市債償還予定額
(今後、市が返さなくてはならない借金)

一般・特別・水道事業+利子含む (平成25年度末現在) **総額 520億7408万8千円**
(前年比 13億942万4千円減)

一般会計 (304億1000万円) の内訳



平成27年度 注目事業・新規事業

子育て支援に

子ども医療費給付事業 3億3341万7千円
今年度から、現物給付の対象をこれまでの3歳未満から小学校6年生まで拡大するとともに、月額500円の自己負担分が中学校3年生まで全て廃止となりました。

予防接種事業 2億8339万円
乳幼児を持つ保護者が、スマートフォンや携帯電話などで予防接種のスケジュールを管理できる「予防接種管理システム」(138万円)を導入します。

特定教育・保育施設事業 16億151万5千円
待機児童対策などを推進するため「認定こども園」、「保育所」、「幼稚園」、さらに地域型保育を行う「小規模保育事業者」に対する支援を行います。

公共施設整備に

庁舎建設事業 7624万1千円
平成31年度の新市庁舎完成に向けて、今年度は基本設計の策定に着手します。

総合運動公園整備事業 4億2073万9千円
当初は、多目的広場南側のエリアを、健康遊具と小規模な複合遊具を配置した「健康広場」と、既存の林を間伐して整備した「小鳥の森」とする計画でしたが、子ども達が自由に遊べる大型遊具を設置した「子ども広場」に変更し、整備を進めています。

市営住宅管理事業 1億7490万8千円
コマツ旧真岡工場独身寮を改造した市営住宅の取得が完了したことから、荒町・本木町市営住宅の解体整地工事(5600万円)を実施します。

防犯対策に

防犯対策事業 4981万2千円
防犯灯のLED化について、リース方式により全地区一斉に整備(270万円)を行います。

教育環境の充実に

小中学校校舎等耐震補強整備事業 1億2600万円
今年度で、市内小中学校の耐震化については全て完了する予定です。

小中学校施設改修等整備事業 2億5059万6千円
市内小中学校のトイレ改修整備や、屋内運動場の電灯落下防止工事などを進めています。

観光の振興に

D51形SL設置整備事業 2953万円
静岡市所有のD51型の蒸気機関車を譲り受け、SLキューロク館に静態展示します。

将来を見据えた計画として

人口減少対策事業 400万円
人口減少対策のための調査などを実施するとともに、地方創生に取り組むための総合戦略プランを策定します。

公共施設等総合管理計画策定事業 500万円
今後、老朽化が課題となる公共施設について、施設の更新はもちろんのこと、長寿命化、統廃合など、総合的な管理計画の策定に取り組みます。

地域公共交通網形成計画策定事業 295万6千円
デマンドタクシーやコミュニティバスの充実を図り、総合的な公共交通ネットワークの整備を進めるため「地域公共交通網形成計画」(実施は平成28年から)の策定に着手します。

数字で見る真岡市 『観光客入込数』

地域ブランドの確立に向けて、真岡市ではここ数年『観光ネットワーク事業』（平成23年度～）の展開、『SLキューロク館』（平成25年度）や『久保記念観光文化交流館』（平成26年度）の整備など、観光事業に力を入れてきました。そこで今回は、真岡市の『観光客入込数』の推移について見てみることにしました。

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
278万5291人	280万6703人	223万492人	246万3570人	284万5313人



ちなみに、平成26年度の『観光客入込数』は、**286万5281人**
(前年比 1万9968人増)とのことです。



観光客入込数とは?
(いりこみすう)

その地域を訪れた来訪客の人数のこと。宿泊客か日帰り客かの区別はなく総数としてとらえられる。

観光を目的とした来訪客が年間1000人以上ある施設、地元以外から集客が多く見込まれる大規模の行祭事やイベント、各市町管内の全宿泊施設などが調査対象となる。
(調査期間は毎年1月1日～12月31日)

コラム

ずーむ あっぴ

原点回帰

～4期目の議員活動スタートに際して～

市町村の議員選挙が他の選挙と大きく異なる点は、1つの選挙区の中で大人数による選挙戦が行われるということである。そのため、新人の立候補者が1人出現するだけでも、支持者層が大きく変動することが起こり得る。

それだけに、私自身にとって4回目となった今回の市議選で、市民の方から「いつも応援しているから頑張ってくださいね!」とお声をかけていただけた時は、本当にありがたく大きな励みとなった。

ある地域で開催したミニ集会では、参加していたご年配の男性から1冊のファイルを見せていただいた。その中には『中村かずひこ通信』の第1号から前回発行した第47号まで綴られてあった。『毎回楽しみにしていて、読み終わったらこうしてとっておくんだよ』そう言われた時、恥ずかしい話だが目頭が熱くなってしまった。

私の12年間の議員活動は、こうした方々の熱意によって支えられてきたということを、改めて学ばされた。

この選挙戦では、7日間で街頭演説を計47ヶ所で行わせていただいた。その中で繰り返し訴えたのは、『人口減少問題』と『地方創生』である。

昨年5月に、日本創成会議の人口減少問題検討分科会が発表した推計によれば、2040年の真岡市の人口は約6万7千人。つまり、合併直前の旧二宮町分に相当する人口が減少することになる。さらに、今から25年後の社会というのは、第2次ベビーブームに生まれた世代が65歳以上になる時期とも重なる。

真岡市が将来にわたって持続可能なまちとなっていくためには、市外から若い世代が移り住む流れをつくっていくことが不可欠であり、他市にはない真岡市オリジナルの『地方創生』の姿が求められる。

わが真岡市は『住みやすいが特徴には乏しいまち』と言われることが多いが、江戸時代や明治時代の歴史を調べてみると『教育のまち』だったという意外な事実が浮かび上がってくる。その歴史や特性を活かしながら『教育と生涯学習を軸にしたまちづくり』を何としても推し進めていきたい。それが真岡市の『地方創生』なのだとは私は考えている。

市議選が終わり、早いもので1ヶ月が経とうとしている。

選挙直後に会派の再編成が行われ、従来2つに分かれていた自民党系の会派が1つに統合されるなど、大きな変化が見られた。そうした流れの中で私自身も悩んだが、これまでどの政党とも一定の距離を置いて活動してきた経緯を踏まえ、“無会派”としてスタートを切らせていただくこととなった。

これまでの環境とは大きく異なるため、不安もない訳ではない。しかし、これを機に12年前に初めて議員になった時の原点・初心に立ち返ることができれば…。今はそう考えている。これまで応援し続けていただいた方々、そして今回の選挙で選んでいただいた方々に、恥じることのない筋道の通った議員活動をしていきたい。

アンケートにご協力をお願いします

「市民アンケート」皆様の声をお聞かせ下さい。

下のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ ポストへ投函
(投函する際、切手は不要です。)

料金受取人払郵便

真岡局承認

531

差出有効期間
平成27年10月
26日まで
(切手不要)

3 2 1 4 3 9 0

真岡市熊倉町3423-4

真岡市議会議員

中村かずひこ行

市政アンケート

差し支えなければ、お名前、ご住所等もご記入ください。

お名前	
ご住所	(〒 -)
お電話	
Eメール	

